

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称	指定等の状況	ストーリーの中の位置づけ	文化財の所在地
1	井波彫刻	未指定 (伝統的工芸品)	宝暦12年(1762)の大火後の瑞泉寺再建の折、京都本願寺から派遣された御用彫刻師の技を、地元の宮大工が習ったのが井波彫刻の始まりである。現在も門前の八日町通りや本町通りには、多くの彫刻工房が軒を連ね、木槌の音を響かせている。	
2	井波別院瑞泉寺	市指定文化財 (建造物・史跡)	明徳元年(1390)に創建された、井波彫刻誕生のきっかけとなった寺。本堂や太子堂、勅使門等において、欄間や蟇股、手挟等、井波彫刻の粋を凝らした優れた装飾を数多く見ることができる。	
3	瑞泉寺山門	県指定文化財 (建造物)	山門に施された井波彫刻の多くは井波の宮大工(彫刻師)の手によるものである。正面には京都本願寺の御用彫刻師、前川三四郎が彫った龍の彫刻欄間「雲水一疋龍」が見られる。	
4	瑞泉寺勅使門	市指定文化財 (建造物)	寛政4年(1792)に再建された門で、小脇に日本木彫刻史上の傑作中の傑作とされる番匠屋七左衛門(田村七左衛門)作の「獅子の子落とし」が見られる。	
5	瑞泉寺太子堂	市指定文化財 (建造物)	井波彫刻の興隆期である大正期に再建された太子堂は、至るところに井波彫刻の傑作が飾られている。井波彫刻の殿堂ともいえる建造物である。	
6	雲水一疋龍	県指定文化財 (建造物)	瑞泉寺山門にある彫刻で、京都本願寺の御用彫刻師、前川三四郎の作。生きているかのような龍の彫刻は、井波彫刻の原点ともいえる極めて秀逸な作品である。	
7	獅子の子落とし	市指定文化財 (建造物)	瑞泉寺勅使門にある井波彫刻。番匠屋七左衛門(田村七左衛門)の作で、日本木彫刻史上の傑作中の傑作といわれている。	

8	だいろうへき 大樓壁	市指定文化財 (建造物)	宝暦12年（1762）の大火後、瑞泉寺の再建とあわせ築かれた石垣造りの防火・防風壁。	
9	ようかまち 八日町通り	未指定	瑞泉寺へと続く石畳の通りには、多くの彫刻工房が軒を連ね、木槌の音を響かせる。通りの至るところに木彫刻が施され、木彫刻のまちの雰囲気を最も感じられる場所である。	
10	さいがけ 齋賀家住宅	国登録有形文化財	八日町通りにある、江戸時代の門前町の住宅様式を伝える町家。一階仏間、二階座敷において、井波彫刻の欄間を見ることができる。	
11	町家の彫刻欄間	未指定	八日町通りの町家の屋内では、井波彫刻の代名詞とも言える彫刻欄間を見ることが出来る。中でも古い時代のものは高い評価を受けており、見応えある作品が多い。	
12	町家の木彫刻看板と表札	未指定	八日町通りの造り酒屋など町家の看板や表札も井波彫刻である。八日町通りを中心に、三日町通りや六日町通り等の各家々にも井波彫刻の表札や門燈などが掲げられている。	
13	ほんまち 本町通り	未指定	本町通りから八日町通りを上がり、瑞泉寺へと続く。通りには彫刻工房をはじめ、鑿屋や彫刻刀屋などの関連店舗が軒を連ねる。	
14	井波町物産展示館 (旧井波駅舎)	国登録有形文化財	代々瑞泉寺の大工棟梁をつとめた松井角平の手による旧駅舎で、かつては参拝客を迎い入れる玄関口であった。総檜造りで、欄間彫刻や臺股を用いた仏閣風の意匠に特徴がある。	
15	じょうれんじ 淨蓮寺の 翁塚と黒髪庵	市指定文化財含む (史跡)	八日町通りの裏通りにある、俳人芭蕉ゆかりの場所。芭蕉の弟子であった瑞泉寺11代浪化上人150回忌に黒髪庵の庭内に芭蕉堂が建てられ、井波彫刻の芭蕉像が安置されている。	

16	きゅうろうすい 白浪水	市指定文化財 (史跡)	瑞泉寺の開基總如上人が乗っていた馬の足かきによって湧き出たと言われる霊泉。「井波」と言う地名や、瑞泉寺の発祥の地とされる。
17	井波の蚕堂	市指定文化財 (建造物)	瑞泉寺の東に位置する養蚕社。井波の大工が建造した社殿「蚕堂」には、見事な木組みと細工が施され、随所に井波大工の技が見られる。本殿の両脇には、蚕にかかる馬や桑葉の井波彫刻が見られる。
18	井波彫刻総合会館の 木彫刻作品群	未指定	管内は瑞泉寺の伽藍配置をモデルにしている。豪華絢爛な欄間をはじめ衝立・獅子頭・天神様、など数百点に及ぶ井波彫刻の作品が展示されている。
19	さんしょく 三卓の仏具	未指定	番匠屋 11代目田村与八郎の作で、大・中・小の経机、香炉台を組み合わせた仏具である。施された彫刻は極めて精緻で精巧であり、井波彫刻の最高傑作のひとつとされる。
20	越中一宮高瀬神社	市指定文化財 (史跡)	本殿などで見事な井波彫刻を見る事ができる。旧本殿は天保7年に建立された井波彫刻の粋を尽したものである。
21	や おとめやまとりづか 八乙女山鶴塚と風穴	市指定文化財 (史跡)	八乙女山の風穴から吹き下ろす「井波風」と呼ばれる強風が災いし、瑞泉寺は幾度となく大火にあい、再建が繰り返されてきた。山頂近くに風穴があり、8世紀ごろ、越前の僧が祠 <small>ほこら</small> を建て、風の神をしづめたと伝えられている。
22	えつちゅうごかやまあいのくら 越 中五箇山相倉集落	国指定史跡	地主神社拝殿の脇戸には「獅子の子落とし」の図が彫刻され、合掌造り家屋では井波彫刻の欄間を見る事ができる。春祭りには、井波彫刻の獅子頭を付けたむかで獅子が集落を舞い歩き、五穀豊穣や家内安全を祈願する。
23	五箇山の寺社群	未指定	五箇山は浄土真宗の信仰が篤い土地柄であり、瑞泉寺との繋がりも深く、五箇山にある寺、念佛道場、神社の多くに井波彫刻が施されている。

24	城端神明宮祭の曳山行事 <small>じょうはな</small>	国指定無形民俗文化財	毎年5月初めに行われる城端神明宮の春季祭礼において、井波彫刻で装飾された豪華絢爛な曳山が町内を巡行する。通年、城端曳山会館で展示されている。	
25	庵屋台	市指定文化財(工芸品)	城端神明宮の春季祭礼において、曳山とともに町内を巡行する屋台。井波彫刻による精緻な欄間がはめ込まれている。通年、城端曳山会館で展示されてる。	
26	福野神明社春季祭礼曳山 <small>ふくの</small>	市指定文化財(有形民俗文化財)	福野神明社の春季祭礼において、町内を巡行する曳山と庵屋台に、井波彫刻の見事な装飾を見る事ができる。	
27	宇佐八幡宮春季祭礼	未指定	福光にある宇佐八幡宮の春季祭礼において、神輿や獅子舞とともに町中を巡回する庵屋台に、井波彫刻の装飾を見る事ができる。	
28	井波八幡宮の春季例大祭	未指定	井波八幡宮の春季例大祭において、八日町通りなど町内を巡行する大神輿や提灯屋台に井波彫刻の装飾を見る事ができる。奉納される獅子舞の獅子頭も井波彫刻である。	
29	木遣踊り <small>きやり</small>	未指定	江戸時代、焼失した瑞泉寺を再建する為、遠く五箇山から大木を運んだ際に歌われた唄が起源とされる民俗芸能。毎年、瑞泉寺の伝統行事「太子伝会」の際、踊りが奉納され、八日町通りでは木遣り踊りの町流しが行われる。	
30	よごし	未指定	かつて、彫刻職人の修行時代を支えた食事の一つ。野菜を茹で細かく切り、味噌で味付けした郷土料理。	
31	いとこ煮	未指定	小豆などを煮た郷土料理で、かつては、彫刻職人の修行時代を支えた食事の一つである。	
32	どじょうの蒲焼	未指定	かつて、ハレの日に食された食事の一つ。栄養豊富であり貴重な栄養源として今も彫刻職人に親しまれている。	
33	かぶら寿司	未指定	かぶらに切り込みを入れ、鰯・鰆などを挟んで発酵させたもの。正月料理として今も彫刻職人に好んで食されている。	